

令和5年度 豊かな学びを推進する幸手市GIGAスクール構想 グランドデザイン

◎Society5.0時代・SDGs時代

- 生きて働く知識・技能の確実な獲得と新たな価値や知識を生み出そうと学び続け、問い続ける教育の実現
- 「指導技術の工夫」から「子供の学びの姿」に軸をおいた授業改善の推進
- 子供一人一人の学び方・理解の仕方の特性、「教育的ニーズ」を把握した授業改善
- 「教職員だけ」→「チーム学校」へ、「教師だけ」→「開かれた教育課程」を実現する学校へ、「同一内容だけ」→「個々人の特性」に応じた教育へ、「紙だけ」→「ICTなどの活用」へ、「学校だけ」→「学校以外の場」も。

目指す
幸手市の教育
育てたい姿、
資質・能力

- 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ、他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力の育成



幸手市の
基本方針

豊かな学びで未来を拓く

目指すGOAL

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす
- ②学ぶ・できる喜びを味わわせ、魅力あふれる学習室を創造する
- ③児童生徒に対するきめ細かな支援と多様な学びの機会提供をする
- ④校務支援システム等との併用により、指導や業務改善につなげる

教職員の取組



ICT教育専門員の
指導・支援

個別最適な学びと協働的な学びで豊かな学びを創出する
= 未来の学習室に向かいあらゆる可能性を追求する

児童生徒や学校の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、
資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する

いつでも・どこでも・何度でも・誰でも・誰とでも

- 【児童生徒】PBL、プレゼン、デジタル・シティズンシップ各講座
- 【教職員】ICT活用及び学校教育の在り方等に関する研修
- 【保護者・地域住民】児童生徒・大人の情報活用能力育成に係る講座

目指すGOAL

- ①多様な学び方で主体的に学習に取り組む力
- ②知識・技能及び思考力・判断力・表現力
- ③学び合い、最適解を創造する力
- ④情報活用能力、健康・安全を実践する力

児童生徒に育成する力

達成指標

学習に対する主体性に関する意識調査

達成に向けた活用方策

- 学校、家庭、社会のあらゆる場で
- ①デジタル・シティズンシップ、健康・安全を意識して、アプリケーションやソフトを必要に応じて、適切に活用する
 - ②学習状況、環境に応じて個別学習、探究・発展学習に活用する
 - ③PBL(Project Based learning)や市内外との交流活動等に活用する

目指すGOAL

- ①アプリケーションや設定の決定
- ②教職員の継続的研修計画の策定
- ③導入による教職員の業務改善

達成指標

- ①アプリケーションや設定の決定
- ②次年度以降の研修計画の策定
- ③時間外勤務削減

達成に向けた方策

- ①企業群によるICT研修会
- ②推進委員による普及
- ③市教委による支援

教育環境

・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する

達成指標

- ①主体的・対話的で深い学びを取り入れた単元設計に関する意識調査
- ②ICT活用に関する教員の意識調査(全国・県)

達成に向けた取り組み方策

- ①PBLの実施と学校行事等での創意ある活用(単元設計の工夫改善、開かれた学び、魅力的な問い、個に応じた支援、適切な評価等)
- ②ICTを活用した分かる授業の積極的な実践(デジタル教科書の活用)
- ③教師のICT活用・指導力向上のための研修の実践
- ④デジタル・シティズンシップ教育、プログラミング教育、健康・安全に関する指導の充実